## 【第9回気象サイエンスカフェ　in　名古屋】

日時：2015年10月24日(土)17：30～19：00（受付開始：17：00）
場所：名古屋市科学館　ミュージアムカフェ＆レストラン
地下鉄「伏見」下車4・5番出口より南に徒歩5分

主催：（公社)日本気象学会中部支部
　　（一社)日本気象予報士会東海支部
　　名古屋市科学館

**テーマ：「台風の過去・現在・未来」**

スピーカー：坪木和久教授
　　所属：名古屋大学宇宙地球環境研究所
　　参加費：1,000円（ドリンクとケーキの代金）

定員：40名程度(先着順)
申し込み期限：2015年10月22日（木）
※ただしそれ以前に定員に達した場合には申込受付を締め切らせていただきます。
お問い合わせ/お申し込みは、メールにてお願いします。
midori-i@zk9.so-net.ne.jp　担当幹事　岩田
※件名は「気象サイエンスカフェ参加希望」とし、本文に住所、氏名および所属（気象予報士会会員、気象学会会員、大学生、自治体等）を記入。（複数名の場合は、参加人数と代表者のものを記入してください。）

サイエンスカフェは、科学者などの専門家と一般の市民が飲み物を片手に気軽に科学などの話題について語り合う新しいコミュニケーションの場です。「気象サイエンスカフェin名古屋」は今年3月に開催後今回が9回目となります。

今回、スピーカーに迎える名古屋大学・坪木先生には、「台風の過去・現在・未来」と題して、ご自身の研究成果などに基づき、伊勢湾台風から将来考えられるスーパー伊勢湾台風の可能性、及び被害や身の守り方などについて分かり易く説明していただきます。

坪木先生のご紹介

① 主な研究
- 1998 年より雲解像モデルを開発。
- 2003 年より地球シミュレータなどにより、台風、竜巻、集中豪雨などをシミュレーションにより研究。
- 現在は、気候変動リスク情報創生プログラム「気候変動リスク情報の基盤技術開発」の研究を進める。
- その他に多くの研究があります。

② 主な著書など
- 気象のシミュレーション,（3.2 節） p115-180.
  共立出版株式会社 「計算科学講座　10」超多自由度系の新しい科学
  金田行雄・笹井理生［監修］
- 局地豪雨・竜巻シミュレーション,（1.4 節） p28-36.
  丸善株式会社　計算力学シミュレーションハンドブックー超ペタスケールコンピューティングの描像
  小柳義夫・土居範久・松田卓也・矢川元基［監修］
- メソ低気圧の階層構造と発達メカニズム.
  気象研究ノート「メソ対流系」, 第 208 号, 289 - 300.
- その他に多くの著書があります。